# ほけんだより 9月

朝晩は少し涼しく感じる事もありますが、日中はまだまだ夏のような暑さが残る時期です。それでも、暦の上では秋。少しずつ秋の気配が近づいていく様子を感じたいですね。

9月9日は『重陽(ちょうよう)』。古来中国では奇数は「陽数」として縁起がよいとされ、暦上で奇数が重なる日には無病息災や豊作、子孫繁栄を願い、季節の旬の物で邪気を払う節句が行われてきました。旧暦の9月9日は、現在の10月中旬頃にあたり、まさに菊が美しく咲く季節です。菊は「仙境に咲く霊薬」として、長寿をもたらすめでたい花、かつ強い香りで邪気を祓う効能があると信じられてきました。そこで重陽の日には菊の花を飾ったり、菊の香りを移した菊酒を飲んだりして、五節句の中でも最も盛んに祝いの宴が催されてきたそうです。中国から伝わった重陽の節句ですが、日本独自の風習として、菊の被綿(着綿・きせわた)があります。これは重陽前夜、つまり9月8日の夜、菊の花を真綿で覆って夜露と香りを移しとり、翌朝、その綿で体や顔を拭うというものです。そうすれば老いが去り、若さを保つ事ができると信じられていました。今も昔も無病息災を願う気持ちは変わらないもの。菊の季節にはまだ早いですが、9月9日には菊の花にコロナ禍の鎮静化を願いたいですね。

## 感染症情報

溶連菌感染症　　1名

※溶連菌感染症は、A群溶血性レンサ球菌によって引き起こされる感染症で、38度以上の発熱とのどの痛みによって発症します。抗菌薬の服用後24時間以上経過し、いつもの元気が戻ったら、登園は可能となります。

※RSウイルス感染症の流行もようやく落ち着き、今のところ都内で流行している病気はありません。園内でも、咳や鼻水といった症状のある子が減ってきました。

※北区からの要請により発熱の際は、解熱後24時間以上経過し、激しい咳等の呼吸器症状が改善するまでは登園する事が出来ません。

☆新型コロナウイルス感染症の流行が保護者世代だけではなく、20歳未満へも広がりを見せている事から、兄弟児を含め、ご家族の中に体調不良者がいる場合には登園自粛にご協力いただけますようお願い致します。なお、登園される場合には、職員に状況をお知らせ下さい。ご理解・ご協力、よろしくお願い致します。

# ～9月1日は防災の日～

9月1日は1923年に関東大震災が発生した日でもあり、また、台風が発生しやすい時期でもある事から、地震や風水害に備える為の日として、1960年に「防災の日」が制定されました。ここ数年、台風や大雨による災害が多発しています。また、30年以内に東日本大震災クラスの地震が発生する確率は70%以上といわれ、災害への備えが必須となっています。この日を機に家族で確認しておきましょう。

◎ハザードマップを見てみよう!!

家のある場所は、どんな災害にあう危険性が高い場所なのか、確認しましょう。また、職場の場所や学校など、普段過ごす時間の長い場所についても忘れずに!!併せて、給水所の設置場所もチェックしておきましょう。

◎避難場所の確認!!

家族が揃っている時、日中それぞれの場所にいる時、どのようなルートで避難するか、そのルートを実際に通ってみて、危険な場所はないか、迂回するルートはどうするか、考えてみましょう。また、ペットを飼っている場合には、一緒に避難場所に行く事が可能か、不可能な場合にはどうするか、考えておくと安心ですね。コロナ禍の現在では、災害の状況や家の場所によって、家に留まる方がよい場合も。

◎非常持ち出し袋と家庭での常備蓄を確認しよう!!

食料品(保存食、水)、避難に必要な物(身を守る物、雨や寒さ対策、明かり)、衛生用品(トイレ対策、感染予防対策、ケガの処置)、身分証明書(母子手帳やお薬手帳)、情報収集に必要な物(ラジオ、充電器、予備バッテリー、電池、現金)、断水対策(おむつ、お尻拭き、ティッシュペーパー、ウェットティッシュ、簡易トイレ用品)

※ある程度家に用意されている家庭も多いと思いますので、この機会に賞味期限やおむつのサイズの見直し、不足品がないか、家族で確認し、みんながわかる場所に置いておきましょう。

※アレルギーのある場合、塗り薬や飲み薬、アレルギー用の食品の準備も忘れずに!!

◎小学生以上の兄弟がいる場合には「災害用伝言ダイヤル(171)」や公衆電話の場所と使い方を練習するのもおススメです。

令和3年8月31日

日の基保育園